

# “鮮度一番！” No.164

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1～2 / 明日への一步 ～宮城からの復興だより～第5回
- 2～4 / 運営委員会で話し合われたこと
- 4～5 / 発見！しただの魅力 補足版
- 5 / コラム
- 6 / 会員を募集しています 編集後記

## 明日への一步

～宮城からの復興だより～

第5回

### 「大人も子供も地域の担い手」

コミュニティ・4・チルドレンでは今年度、宮城県において、地域が一体となって取り組む防災教育・福祉教育・地域づくりの取り組みをサポートする事業を立ち上げました。

その一環として、県内各地における上記のような取り組みを随時視察に伺っています。今回はその一部をご紹介します。

10月25日には、柴田町社会福祉協議会主催「秋・ボランティア体験学習スペシャル」に伺いました。町内中学生を対象に毎年開催しているこのイベント、今年は12名の生徒が参加しました。今年のテーマは「災害支援・防災について学ぶ」。震災や災害ボランティアについての講話、クロスロードなどを通して、普段から助け合っていくことの大切さを学びました。最後に投げかけられた「これから、自分たちにできることは？」という問いかけに対しては、「地域の高齢者の話し相手になりたい」「サッカーが得意なので、小学生向けのサッカー教室を開きたい」「道路をきれいにして、花をたくさん植えたい」など、素敵なアイデアがたくさん集まりました。

11月3日には、石巻市役所の入る駅前ビルの中に『高校生がつくるいしのまきカフェ』がオープン。初日に伺い、おいしいジュースをいただきました。石巻の高校生45人が、コンセプト、ロゴ、メニュー、内装などを自分たちで考え、作りあげてきたそうです。総合監修を行う日本財団の担当者は、「地元で愛され、高校生の地元への愛着心が育つようなカフェづくりを、皆と一緒に目指していきたい」とお話していました。「子ども」といっても、一人ひとりの地域住民。将来の地域の担い手となる宮城の小さな住民たちは、自分たちの目線で自分たちにできることを、一生懸命考えています。また、その想いを実現に向けてサポートしている大人たちも、子どもたちのも

つパワーを信じています。

震災をきっかけに広がる、地域を想う人々の輪。これからどんな素敵な取り組みに出会えるか、楽しみです。

支援者のための支援センターTOMONY 事務局  
一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン防災・福祉学習コーディネーター  
菅原 清香

## 運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成24年11月14日(水)(AM9:30~11:30)

場 所 男女共同参画センター

雨続きの毎日ですが、「雨、雨、降れ降れもっと降れ～、わたしのいい人連れて来い(♪)」(八代亜紀)な～んて、唄で明るくなりますか?!

次回の運営委員会は、12月5日(水)9:30～男女共同参画センターです。  
どなたでもおいで下さい。

### 1. 「ワイワイ女性ひろば打ち上げ」(10/24)を終えて

打ち上げには、15名の皆様にお集まりいただき、ラジオ収録時だけでは、知り得なかったゲストの多彩な活動に話題は尽きることがありませんでした。ご出席くださった皆様ありがとうございました。

また、会場の三条ロイヤルホテルさんから、恒例の感想アンケートが来ましたが、「お料理、接客ともグッド!」でしたね～。

### 2. 第8回ひとひとフォーラム(10/28)参加報告

防災対策について国崎信江さん(危機管理教育研究所、危機管理アドバイザー)のお話は、午後の眠気など吹き飛ばすほど強烈な内容でした。

防災なんていうと難しそうで、きっと自分は災害に遭わないだろうと逃げていましたが、地震国日本では、1年間に25万回、東京では5分に1回地震が起きているのだそうです。実際に大地震や津波、集中豪雨、洪水、土砂災害など、行政対応の限界を超える災害は、突然に発生しています。

それなのに防災について、本当に何も考えてこなかったことが分かりました。

時代遅れの防空ずきんや火災から避難するときに口にあてるハンカチの効用など、今の時代ならもっと良い方法があることも知りました。

最もショッキングだったのは、東日本大震災で、指のないご遺体が多く発見されたいいのですが、津波に飲み込まれたときのものか、あるいは国際犯罪組織の仕業か…。

救助隊が、体制を整えて現地へ着く前に、国際犯罪組織が先に入り込むことは、大連続きの外国では当たり前になっているのだそうです。震災孤児の連れ去りや避難所での性暴力など、災害時の犯罪の話には、胸が痛みました。

結論は、行政や情報に依存せず、「災害がいつ発生しても自分の生命やくらしを守れる自立した防災力をつける」ことが大切だということです。ここからは、防災を行政任せにするのではなくて、私達自身が普段の生活の中で災害への備えをしていかなければいけないのだと強く感じました。

### 3. 「大人の女性のためのしただツアー」(11/7)について

しただ郷地域コーディネーターの近藤洋子さんと25名の参加者とで、大人の女性のためのしただツアーを満喫してきました～。

午前、勝山百合さんの解説でしただの遺跡を訪れ縄文時代に思いを巡らせました。雨の中だからこそ紅葉は、素晴らしく美しく、今まで知らなかった紅葉スポットでの風景も堪能しました。

お昼の「ゴッツォ・ラーテ」でのプレミアムコースのお食事は、日々節約を心掛けている私達女性には、とびきりの贅沢で身も心も溶けてしまいそうな幸福感を味わいました。会話も弾みましたね～。

午後一に訪れたみひろ窯さんでは、玄関に入る道の両側に紅葉した落ち葉を敷き詰めるという絵画的なお迎えを受けて感動しました。

スノーピークさんでは、ナチュラルライフもカッコよくきめる山井社長のお話しと大人の私達にピッタリのにこやかな笑顔のスタッフ近藤哲哉さんに会社の案内をしていただきました。

今回も参加者全員が大満足！のツアーとなりました。ご協力いただいた皆様、お陰様です、ありがとうございました～！！

### 4. 男女共同参画推進プラン(平成23年度改訂版)の説明会について

上記説明会を12月の運営委員会の日に行います。お時間の都合の出来ます方、お集まり下さいますようお願い致します。

日時 12月5日(水) 午前 10:00～10:30(30分)

場所 三条市男女共同参画センター(三条市田島2-22-36)

### 5. アルザフォーラム(11/17～25)について

新潟市の上記フォーラムが「みんないいから みんなちがう かさねてつくる新しい時代」をテーマに開催されます。

11月25日(日)には、基調講演として午後1:20から万代市民会館で、「私らしく生きる～それぞれが、それぞれの色に輝いて～」と題して作家落合恵子さんの講演が行われます。参加費は無料。その他いろいろなワークショップも開かれますので、インターネットで「アルザフォーラム」と検索し、概要をご覧ください。

## 6. その他

◆白熱教室(毎月三条東公民館にて20日開催)、今月のテーマは、「原発あり?なし?それとも、もっといい知恵あるかな?」です。申込み不要ですので当日会場へおいでください。

◆11月25日(日)午後1時30分～3時30分、まちなかキャンパス長岡301会議室にて、前国立女性教育会館理事長神田道子さんの講演会「女性の社会活動のいま～キャリアの形成とセンターの役割～」が開催されます。ウイメンズスタディズ・ネットワーキングとF&Mながおか市民会議主催です。

当会からは、米田、安室、野崎が参加します。一緒にしませんか?

追補版

発見! しただの魅力

～ひろこの突撃レポート～ その2

しただ郷地域コーディネーター 近藤洋子

「しただ郷と結婚してしまった女性!？」

～埋蔵文化財調査室 勝山百合さん～

いきなりとんでもないタイトルですが、私がある方から勝山さんのお話を聞いたとき、その方が話されたこの一言が、とっても印象的だったので、タイトルにさせていただきました。

お会いしてみると、落ち着いた様子で、淡々としゃべっているのに、なぜか「この人はしただの地を本当に愛しているんだなあ…」と思わせる何かがありました。それは話されているあいだの目の輝きと、だんだんとそのトークに引き込まれていき、まるで自分が縄文時代の世界にいるような気分になってしまう徐々に乗り込んでしまう静かな、しかし彼女が持つ熱い想いが伝わってくるからだと思います。

勝山百合さんは神奈川県のご出身。本当は都会っ子なのですがしただ郷に来てから早や11年、もうすっかり地元の人のように同化していらっしゃいます。彼女のお仕事は市の職員として、建築



前の土地での遺跡の発掘調査をすることです。また、三条考古学研究会にも所属し、縄文文化を知らせたり、体験できる活動を行っています。

もともと考古学が好きだった彼女、世界の古代遺跡が好きで、旧石器時代を専門に大学で考古学を専攻されました。そして旧下田村時代に遺跡調査の担当として採用されました。今ではただ郷の旧石器時代・縄文時代の遺跡を語らせたら彼女の右に出る人はいないくらい本当に詳しく、その知識の深さには脱帽してしまいます。

ただ郷の歴史は古く、人が住み始めたのは2万年前(旧石器時代)からだそうです。そして、信濃川流域は火焰型土器を始め矢じり、勾玉(まがたま)、土偶など縄文人の足跡をたどれるものも多く出土しています。下田郷内は五十嵐川流域に特に多く遺跡があり、その数は200ヶ所以上、特に旧石器時代は奥三面や津南に匹敵するほど多いそうです。地元の人「畑を掘ると遺跡が出るから、それでよく遊んだ」という人もいます。

余談ですが、昨年三条市が公募していた十日町市の笹山じょうもん市ツアーに参加させていただきました。国宝の土器が出土した地域で、縄文をテーマにした地域おこしをしています。小学生から中学生、大人たちに至るまで、あらゆる世代の人たちが縄文をテーマにイベントを行っています。縄文太鼓、縄文ダンス、縄文演劇、縄文体験(勾玉作りや弓矢作り等) 古代米のお酒に縄文ソーセージなどなど…。同行してくれた勝山さんもとても楽しそうでした。彼女の視線の先にはこんな風に地域の人たちと共に縄文で地域を活性化したいという思いがあるのかなぁ…。と勝手に思いました。

最近遺跡めぐりや講演会の講師としても引っ張りだこの彼女、こんなにただ郷大好きな女性を独身のままとさせるのはもったいない話です。是非ただ郷の遺跡で意気投合できる男性とゴールインしてもらいたいものです。



**「遺跡体験出前講座」を実施いたします！**

勝山さんを始め、遺跡発掘のプロが出前で講座を開いてくれます。

【お申込み先】三条市生涯学習課文化財係

TEL : 0256-46-5205

●●● コラム ●●●

いつのまにタバコが消えた

早川 壹禧

50年間続いたタバコがなぜか苦労なく手から消えた。これはNWE Cフォーラムでのワークショップ体験で脳に刺激を受けた心境の変化の結果か。「もっともっと自分をのぼそう～人生90年時代の役割と生涯育自～」に触発され、自分のこれからの1万日、意味ある生活、人生に時間を使いたい気持ちが強くなった。なすべきことは小さいことでも自分を取りまく悪い習慣を問い、良い習慣(心も体も)を積極的に取り入れ、目標をもって生活の質を向上させる…等を日々思考した結果、いつのまにかタバコが消えた。

女性会議のメンバーとの出会いが自分を成長させた。感謝感謝の日々です。

## 三条女性会議では随時会員を募集しています

**Q.** 三条女性会議って、どんな団体？

**A.** 女性と男性があらゆる分野で、共に参画し、支え合う社会をつくることを目的に活動している市民活動団体です。

**Q.** どんな活動をしているの？

**A.** はい、次のような活動をしています。

●燕三条エフエム放送で「ワイワイ女性ひろば」を担当（4月～9月）

本放送 毎週木曜日 11:00～11:30 再放送 毎週水曜日 19:30～20:00

●毎月会報「鮮度一番！」の発行やホームページによる広報活動

●その他、男女共同参画社会実現に向けた活動

**Q.** 誰でも入れるの？

**A.** はい。女性だけでなく男性の会員さんも活躍しています。

年会費： ・一般会員 3千円 ・賛助会員 3千円 ・団体会員 1万円

連絡先： 野崎ミチコ Tel 32-3667 / E-mail: info@joseikaigi.net

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>

### ◆会報「鮮度一番！」への投稿を募集しています

「鮮度一番」では、あなたの男女共同参画社会への気づきについての文章を募集しています。一人ひとりが体験した生活での気づきをみんなで共有できたらと願うものです。本名やイニシャルでの掲載、文字数等柔軟に対応致します。

どうぞあなたの声をお寄せ下さい。

《送り先》

●三条女性会議 E-mail: info@joseikaigi.net

●FAX 0256-32-3679

●〒955-0044 三条市田島 2-12-12

編集後記：

雨浸りの毎日が続き、3才の孫は外で遊べずご機嫌斜め！久しぶりのお日様に八幡様へ出かけてきました。ママ友は集っていましたが、パパ友は見当たらずにがっかり！落ち葉を踏みしめ冬支度が始まった八幡様で、ブランコ・ジャングルジム・鉄棒と大いにはしゃいできました（下田へは行けませんでしたので）。今号もどうぞ隅から隅までお読みください。（原）

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>